

企業レポート

# Investor Relations

IRハイライト

## 【IRハイライトとは】

企業は、株主や投資家に対して、投資判断に必要な情報を適時、公平に、かつ継続して提供していかなばなりません。IR活動を通じて投資家等と意見交換することで、資本市場での正当な評価を得ることができるからです。企業を存続させ、その価値を高めていくためには、企業活動の現状と将来性を正確かつ魅力的に伝える必要があります。当企画では、企業の魅力的な活動の数々をハイライト版でレポートし、読者にわかりやすく、注目されるIRレポートを提供します。

つきましては、本企画書をご覧の上、  
広告出稿をご検討くださいますようお願い申し上げます。

## 週刊ダイヤモンド

週刊ダイヤモンドは1913年（大正2年）の創刊以来、100年以上にわたり、日本の産業、企業そして企業人と共に歩んでまいりました。その間、常にビジネスの現場にいる経営者、部課長等の管理職の方々を主たる読者層として、新鮮な切り口で情報を提供し続けてきました。この方針は編集記事のみならずタイアップ広告においても一貫して守られております。読者にとっては広告もまた、大事なビジネス情報と捉えられているからです。

## 企画要項

### 企画構成

取材・執筆／本誌嘱託ライターが取材し、記事スタイルでまとめます。  
撮影／原則として、カメラマンがビジュアルの要素を撮影します。事前のご相談にも応じます。

### 掲載料金

見開き2ページ

**2,500,000円**（税別・制作費込み／通常価格254万円＋制作費50万円＝304万円）  
※増ページ 1ページごとにプラスすることもできます。料金はお問い合わせください

**お申し込み締め切り** 発売日の60日前

**取材撮影締め切り** 発売日の40日前

### オプション（別料金）

抜き刷りとダイヤモンド・オンラインへの転載につきましては、下記からそれぞれご確認ください。

- ① 抜き刷り  
<https://adinfo.diamond.jp/dw/menu-1/>
- ② ダイヤモンド・オンライン転載  
[https://adinfo.diamond.jp/wp-content/uploads/dol\\_tensai.pdf](https://adinfo.diamond.jp/wp-content/uploads/dol_tensai.pdf)

その他のオプションに関しましてはお問い合わせください。

### お問い合わせ先

ダイヤモンド社 ビジネスメディア局

本 社 〒150-8409 東京都渋谷区神宮前6-12-17

**TEL.03-5778-7220 FAX.03-5464-0783**

E-mail: web-ad@diamond.co.jp

# 企業レポート Investor Relations

IRハイライト

## ■社長インタビューと株価データで将来性をアピール ■個人投資家、機関投資家による企業理解と認知度向上

### 【本企画の特徴】

- 本文を3段落で構成し、①「事業紹介」では登場企業の概要、②「会社の強み」では人気商品や新サービスなどのニュースを交えて紹介、③「成長戦略」で企業の将来性をアピールします。
- 本企画は、通常料金よりお得な広告料金を設定しています。
- ビジネス誌として幅広い読者を持つ本誌に掲載されることで、広く貴社名が認知されます。

### 誌面構成イメージ

#### 7 Data File

直近1年の株価チャートと業績の推移、株価指標など

#### 8 株主還元情報

株主になるメリットなどをアピール。株主優待、配当性向などを紹介します

#### 9 クレジット

PR表記が入ります

**7 Data File**

直近1年の株価チャートと業績の推移、株価指標など

**8 株主還元情報**

株主になるメリットなどをアピール。株主優待、配当性向などを紹介します

**9 クレジット**

PR表記が入ります

**株主還元情報**

株主優待制度を実施している。地元の特産品詰め合わせが年2回送られる。100株以上の株主には2000円相当、200株以上には4000円相当となる。また、長期保有株主への優遇もあり、2年目からはオリジナル商品がプラスされる。配当性向は42%と高く、●月×日時点の株価で、配当利回りは2.96%。

**株式会社大矢不動産**  
〒100-1234 東京都渋谷区神宮前1-2-3  
TEL: 03-5778-1234  
URL: <http://www.diamond.co.jp/>

**業績**

売上高 (百万円) 71,000  
営業利益 (百万円) 11,000

当期純利益(純損失) (百万円) 8,100

第3四半期の売上は過去最高、主力の中古マンションシリーズが人気に、自社開発によるシステムで独自のリノベーションを施しており、コストコントロールも効いている。その他の事業も好調で、通期予想を上方修正している。株価は前高に見えるが、前期以降の業績をベースにすれば適正水準だ。

**株価の推移**

2015年7月 8月 9月 10月 11月 12月 16年1月 2月 3月 4月 5月

2016年3月31日 終値 3360円

決算: 3月末 単元株数: 100株 PER: 30.0倍  
PBR: 10.54倍 配当利回り: 3.5%

**効率化を図るために**

効率化を図るためには、まず、計画を立てること。現状を把握してその問題点を解決する

効率化を図るためには、まず、計画を立てること。現状を把握してその問題点を解決する

効率化を図るためには、まず、計画を立てること。現状を把握してその問題点を解決する

**成長戦略**

投資家の関心を引く内容にします。自社製品やサービスシステムなど、その事業内容をわかりやすく解説いたします。将来性を感ぜさせる事業内容を強調し、投資家の関心を引く内容にします。自社製品やサービスシステムなど、その事業内容をわかりやすく解説いたします。将来性を感ぜさせる事業内容を強調し、投資家の関心を引く内容にします。自社製品やサービスシステムなど、その事業内容をわかりやすく解説いたします。

**ネットワーキング増強と高収益体質への転換**

投資家の関心を引く内容にします。自社製品やサービスシステムなど、その事業内容をわかりやすく解説いたします。将来性を感ぜさせる事業内容を強調し、投資家の関心を引く内容にします。自社製品やサービスシステムなど、その事業内容をわかりやすく解説いたします。

**会社の強み**

地元情報に精通した専門家集団

自社製品やサービスシステムなど、その事業内容をわかりやすく解説いたします。将来性を感ぜさせる事業内容を強調し、投資家の関心を引く内容にします。自社製品やサービスシステムなど、その事業内容をわかりやすく解説いたします。

**地域に特化した不動産事業を展開する**

自社製品やサービスシステムなど、その事業内容をわかりやすく解説いたします。将来性を感ぜさせる事業内容を強調し、投資家の関心を引く内容にします。自社製品やサービスシステムなど、その事業内容をわかりやすく解説いたします。

**1 企業名/証券コード**

**2 メインタイトル**  
MAX 15W×2行以内

**3 リード**  
100～140W前後

**4 本文**  
14W×120行程度

**5 社長写真**  
社長のお写真とプロフィールを紹介しします

**6 ビジュアル**  
企業をイメージさせる、または説明する写真および図版を2～3点掲載いたします

**大矢不動産**

東証1部 0000

軌道にのった新事業をさらに躍進より高い収益性を目指す!

上場企業の未来を読み解く

Investor Relations highlight

IRハイライト